

＜千代田小学校の歴史＞

千代田小学校は、明治6（1873）年に創設された長い歴史のある学校です。

当初、下帯那の養節院という寺院の一棟を校舎にして帯那学校と称していましたが、明治22年に千代田尋常小学校と改称し、平瀬に分校が置かれました。

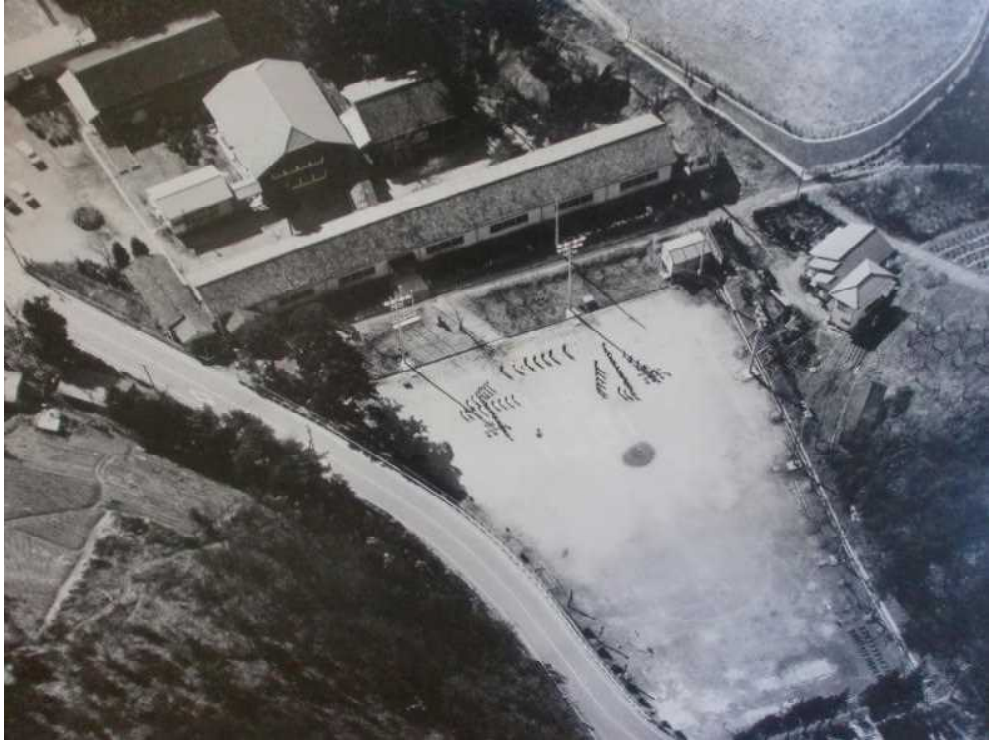
明治43年8月、千代田村は巨費を投じて現在地に新校舎を完成させました。翌年12月2日の落成式には、来賓338名、児童220名、計560名もの人が出席して盛大に行われたことが学校沿革に記され人々の興奮が伝わってきます。

校舎の北側の市道をはさんで一段下がって校庭があります。校庭を取り囲むように植えられた桜の花は独特の風情があり、赤松の古木が落ち着きある学習環境をつくっています。

現在の千代田小学校は「心豊かでたくましく、自ら学び、自ら考え、実践する子どもの育成」という学校教育目標を掲げ、確かな学力の充実、一分間スピーチ、一輪車、福祉施設千代田荘との交流、全校合唱など特色ある教育活動を展開しています。また、「千代田探検」をテーマに、伝統文化や環境学習、伝統食など新たな学習課題にも取り組んでいます。



＜ 1965年（昭和40年）千代田小学校 ＞



< 1981年(昭和56年)千代田小学校 >



<1984年(昭和59年)千代田小学校 >



<2000年(平成12年)千代田小学校 >

< 学校周辺…千代田湖の変化 >



<水が入る前の様子>

千代田湖は、丸山溜池として、人工的に作られた湖です。

